

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 10 月 6 日 (20:00~20:30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	前泊・井本・勝連・譜久村・久貝・仲地 吉田・井上・金城・波平・山城・棚原・坂東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人	2人	2人	17人

前回の改善計画	情報 (困りごと・利用したい意向など) の声をひろう努力を全体で意識していくことが必要、そして、ひろった情報をどのようにプライバシーの保護をしながら伝え地域と初期支援の構築をしていくかが課題。スタッフ全体での情報共有 (ミーティングとミーティング欠席者への伝達強化)、地域への情報発信 (困りごとの発生と事業所での支援、これまでの関わりを探りつなぐ配慮) をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	声を拾う努力を全体で意識し、多くの情報を拾うことができ、ミーティングを通じスタッフ全体で情報共有をすることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8	6	1	2	17
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	10	1	1	17
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	8	2	1	17
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6	8	1	2	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
近隣に挨拶等 (送迎時も含め) 声掛けを行うことで世間話から本人の様子を聞いたり探ったり、結果的に自然と情報が得られる。ミーティングや会話からも新しい利用者の事を知ろうと努力し、積極的に声をかけるようにしている。地域性から相談前よりある程度の情報が入ってくることも多い。また意識して声をたくさん拾うことで、利用者本人が望むこと、家族が望むことが見えて必要なサービスを絞りこむことができる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
関係性が近いことから利用者・家族に対しての配慮が足りないことがある。独居世帯が増加し、情報を拾うことが年々難しくなっており、時間がかかるようになってきている。本人の希望していることや、より一層地域の声に耳を傾けないといけない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
一つ一つの業務に追われ、業務以外のことに気が回らないことが多々ある。業務分担とともに利用者ごとの担当制を訪問スタッフがとっており、担当以外のスタッフや訪問を担わないスタッフがなかなか家族・介護者とのコミュニケーションがとりにくいことが課題。業務を一つ一つこなしながらも、これまで同様の地域との日常的なつながりを大事にしながら、スタッフ間でのコミュニケーション・情報共有を毎日のミーティング・記録で強め確認していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 6 日 (20 : 00~20 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 前泊・井本・勝連・譜久村・久貝・仲地
吉田・井上・金城・波平・山城・棚原・坂東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4人	9人	3人	1人	17人

前回の改善計画
日々の役割や受け持ち体制により、できることの差があることが課題。 利用者一人一人にスタッフ一人一人が気をかけて、一対一の関わりを増やす。 汲み取れた「～したい」を私たちが言葉にして確認し、ミーティングで発言し合い、環境と折り合いをつけながら「～したい」実現へ支援し続ける。
前回の改善計画に対する取組み結果
個々のスタッフが、利用者の声に耳を傾けながら利用者で一対一の関わりを増やすことができるようになり、本人のその時その時の「～したい」に向かって一緒に取り組むことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	9	4	1	17
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	9	4	1	17
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	4	9	3	1	17
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	8	3	3	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個々の対応に苦慮しながらも、会話の中から利用者の気持ちをくみ取る努力をしている。これまで気づかなかったことの気づきが職員間で生まれ、ミーティング等で話し合うことができている。気持ちを言い合い伝え合う関わりがここにはある。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
会話のない利用者の気持ちをくみ取るのが難しいことから、これまでの暮らしの中で得られた情報で動いてしまうことがある。せっかくな実践をしているにもかかわらず、なかなかミーティングで発言することが苦手な職員もいて、全体の中で生かしきれていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
日々の変化していく利用者の気持ちや「～したい」に追いつけていない部分があること、一対一の対応に追われ情報共有ができていないこと、職員個々の役割・苦手意識があることが課題として挙げられた。利用者との一対一の関わりが増え、個々の関わりはできているので、職員一人一人がそこから発見した気持ちや「～したい」を職員間のチームにつなげる努力をして、利用者・家族・職員・地域でチームワークを強めて関わることを意識する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 13 日 (20:00~20:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 前泊・井本・勝連・譜久村・久貝・仲地
吉田・井上・金城・波平・山城・棚原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	8人	3人	0人	17人

前回の改善計画
 これまでの日々の生活での関わり・心遣いを活かしながら日常生活を支援している。その中で、最近尿意を訴えられる方が少なくなっており、羞恥心への介入・排泄ケアが課題。食事・入浴時間の介入が固定されているのに合わせつつ、羞恥心については細心の注意をはらい排泄補助具の工夫と排泄の介助時間をそれぞれの利用者ごとに具体化して、よりよい排泄ができるよう改善を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果
 利用者一人一人に合わせた介護をこころがけ、過ごしやすい環境づくりに日々努力できた。特に、排泄については、トイレ誘導に合わせ排泄支援の希望を利用者もこっそり伝えられるようになった方や、大きな声で伝えられる方が見られたり、医療者と協力し排泄パターンと排泄への薬や工夫の検討など一緒に話し合える職員が増えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	5	7	3	2	17
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	10	7	0	0	17
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5	8	2	2	17
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	11	4	2	0	17
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	8	8	1	0	17

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 利用者日々の変化に気を配り、ミーティング等で一人ひとりをとらえ話し合う機会が増えたことにより、スタッフ間での情報共有は昨年よりできている。集団の中で発言ができなくても、他のスタッフと個々に話を聞きながら日常生活支援をしている。役割分担ができているので、日常業務を行いながらも即時的な支援、その日に合った支援が利用者に合わせてできる。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 羞恥心には最新の注意を払っているつもりでも、日々の仕事に追われた配慮に欠けることがある。利用者の声にならない声を言語化しようとするが、重症度も上がってくる方もおり、本人が何を希望しているのか把握に時間がかかってしまう(特に終末期と判断され家族が集まったりなんなりしてもその状態が長く続く方が今年が多い) 変化にあわせた支援の共有化・言語化がまだまだできない職員も多い。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 現在特に90代の方が多く、最期まで家で過ごされたい希望の方の重症度が高く、老衰末期と判断され命の線が本当に細い方々が増え、脆弱な身体状況での在宅介護とご家族との協働が課題。このお一人お一人の人生の終末期をみんなで関わり続け、最期まで生き抜くことをお一人お一人から学び続け結束力を深めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 13 日 (20 : 00～20 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 前泊・井本・勝連・譜久村・久貝・仲地
吉田・井上・金城・波平・山城・棚原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	11人	3人	0人	17人

前回の改善計画
動けない状態や気持ちが外に向かない状態に、近隣は少しずつ離れて行ったり、本人もみじめさなどを抱えてしまい、重症化になった時の対応・個々人の対応と家族の気持ちへの対応が課題。 これまでの生きてきた島人たちの暮らしを尊重しつつ、見守る・声掛けをする。その人の生き方・島の流れを見ながら、送迎時のルートを工夫し姿をみせたり徐々に想いや状態の情報を流したりして繋がりを紡ぐ。
前回の改善計画に対する取組み結果
本人のこれまでの生活スタイル・人間関係などを考慮しながら、スタッフと共に様々な方法で地域行事に参加している。送迎時のルートを工夫し、関わりの深かった地域人と接触を試みている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	6	8	1	1	17
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	7	8	1	1	17
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	6	9	1	1	17
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	5	3	3	2	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域からスタッフと利用者の方々が昔から家族の様な付き合い方をしてくれており、お互いの信頼関係の下で本人のこれまでの生活スタイルを変えないように努力している。地域なくして個々の介護はできず、地域と協力しながら、職員一人一人が独居の利用者に対して、夜間の見守り等、常に意識して気にかけている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
まだまだ家族と本人との関係性にどこまで介入してよいのか難しく日々苦慮している。この人はどんな人なのかどんな人だったのかという事を周りから情報を得て本人の暮らしを理解しようとしているがすべての利用者に同様にできるわけではない。これまで簡単に頼みごとをお互いさまでできる地域だったが地域の高齢化に伴い遠慮しなければならないという思いもあり、巻き込む力は弱くなっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者の現状を地域の人々に知られたくない家族と本人の「～したい」とのずれの対応と、暮らし全体・地域全体が丸見えの分相手に対する心遣い・遠慮がたくさん見られることが課題。もう一步踏み込むための工夫として、前回の改善から取り組みにもある利用者との関わりの深かった地域の人たちとの点と点を結ぶ努力と、地域行事への参加工夫をしながら継続していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 20 日 (20 : 00～20 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 前泊・井本・勝連・譜久村・久貝・仲地
吉田・井上・金城・波平・山城・坂東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	9人	5人	2人	1人	17人

前回の改善計画	変化に対しての柔軟さはあるが、場当たりの的になるので、チームで考える機会を常に持つようにしていく。今まで通り、多機能性・柔軟性を行政にも理解してもらいながら現状の支援を継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	臨機応変に物事を進めることができた。チームで考えて動くことを常に意識し、地域の特徴を生かしながら支援していくよう努力できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	8	7	2	0	17
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	7	2	0	17
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	7	8	1	1	17
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	9	6	2	0	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域に合わせた支援がうりというか、地域なくしてはここでの介護は成り立たず、利用者は環境の変化にあわせ柔軟な対応ができ、また臨機応変な対応を心掛け実行している。本人・家族・地域のニーズに合わせたサービスの提供を常に心がけて動いている。行事などを活用し各家庭や親せきとのつながりと向き合い、ミーティングや日常会話で常に共有し、柔軟に動ける。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
気づきや支援の記録やその時々のミーティングへの参加に個人差があり、チームワークが取れるときと取れないときがある。記録の大事さを再確認するとともに、記録を見直すことで利用者の変化に気づけるようなことがまだできていない。利用者の老いに伴う認知度の低迷・家族が本人を思う気持ちに大きなずれが生じ、柔軟さという対応の理解の相違やタイムラグが起こるのですり合わせることに日々難しく感じている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
「変化」に気づき対応してもそれを記録に落とせず記録の大事さができていない部分があること、老いの進行(本人の状態)をご家族にタイムリーに理解してもらおうための家族とのコミュニケーションの取り方が課題。記録を書くことだけでなく読み立ち止まり振り返ることを日常化できるように、記録の整理を皆で取り組む。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 20 日 (20 : 00～20 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 前泊・井本・勝連・譜久村・久貝・仲地
吉田・井上・金城・波平・山城・坂東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	5人	0人	17人

前回の改善計画	個別支援でつながり合っている多職種とスタッフ間は、顔の見える関係性ができているが、自治体や包括支援センター・団体との会議には代表・ケアマネが参加を担っており今の役割分担を継続していく。担当者会議の各スタッフの参加強化を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	担当者会議に参加できたスタッフが増えたことと、各スタッフが各連携先に意識的に連絡や相談を担うようになっておりそれを管理者ケアマネが報告を受ける形ができてきた。各自の役割分担された業務を積極的に参加するようになり、連携強化に取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	5	3	6	17
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3	4	5	5	17
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	5	7	3	2	17
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	12	4	1	0	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
避難訓練や誕生会・敬老会・運動会などみんなで支え合い地域行事に積極的に参加しており、地域とのつながりを大切にしている。個々の個別支援等でのつながりでの顔の見える関係性は、他事業所のサービス機関の来所も日常的にありできている。曜日・時間を問わず島民以外もほかの地方の方々まで老若男女問わず気軽に立ち寄っている。リーダーが参加したら必ず会議などの報告がある。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
各々役割分担を担っており、業務の関係上、会議等の参加者が決まっている。代表が連携を担っているので、役割分担を崩した方がいいのかわからない。個々に組織や会議等に苦手意識がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
勤務の関係上、個々のスタッフが役割分担以外の業務に参加する機会がないことが課題、役割を徐々に経験年数やリーダーには担えるよう工夫しており、できることから少しずつ参加する努力していく。そのために意識的に担当者会議に参加したことのないスタッフを優先に参加、各連携先に連絡や相談をさせることを行い、管理者ケアマネが報告確認を受ける形で全体・チームワークでの連携・協働のステップアップを目指す。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 20 日 (20 : 00～20 : 30)

7. 運営

メンバー 前泊・井本・勝連・譜久村・久貝・仲地
吉田・井上・金城・波平・山城・坂東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	11人	3人	0人	17人

前回の改善計画
地域に密着しすぎていて、職員としての意見は遠慮があったり意見をする習慣がなく、雑談で処理できる、処理されていることが課題。 ミーティングやみんなの前できちんと話せるように「そういえば」という項目を設定し、気になることを意識して発言できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
ミーティングの中でも「そういえば」が、何度も聞ける様になりスタッフ個々の意見が出されるようになってきている。「そういえば」を言うようになり雑談からミーティングの課題へと取り上げられることが生まれてきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	4	9	3	1	17
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	9	2	0	17
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	9	2	0	17
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	10	6	1	0	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	意見・苦情等に対する対応は素早い。地域の拠点として、地域活動に率先して参加し、色々な声に耳を傾けている。なんとか「そういえば」という声がだせ、声を拾いつなぐことをしてきている。日々、地域とスタッフ間で話し合い共有・地域の声、結集つながり合って協力し合っている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	家族からの要望が地域柄や関係性から介護サービス以上になることが多く、線引きが難しい。意見苦情など雑談の中でとどまることもまだまだ多い。くみ取れない苦情もある。地域は、池間島のみとなっており、宮古島への広がりはできていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	地域の関係性に遠慮がまだまだあり、意見をすることが難しい、そして目の前の池間島の地域だけでも精一杯なのが課題。毎日のミーティング、月末のケア会議、臨時のミーティングで「そういえば」の項目設定の継続、苦手意識のあるスタッフは話しやすい相手に「そういえば」とスタッフ間で話し合うことから始める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 27 日 (20 : 00～20 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 前泊・井本・勝連・譜久村・久貝・仲地
吉田・井上・金城・波平・山城・棚原・坂東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	8人	3人	0人	人

前回の改善計画

研修の必要性の理解やスキルアップの捉え方が課題。
日々の地域で老い過ぎられる時間の共有・一人一人の対象と向き合うことが何よりの学びであり、地域の力をかりその地域ならではの質の向上を目指す。全国から専門職者の研修・見学や実習生が定期的に入ってくるので、そういう機会を活用して学び合いの継続と、外部からの目を入れ続け意見をj得る。

前回の改善計画に対する取組み結果

介護・介護の実習生、研修生からの学び合いはもとより、その機会での内部研修とともに資格取得のために定期的に講座に通ったり、市主催の研修にはほとんどの日程に交代で参加するなど外部研修参加をすることができた。特に若いスタッフが積極的になったことはここ数年で稀にみる研修の自主的な参加希望が得られることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	8	1	4	17
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6	7	1	3	17
③	地域連絡会に参加していますか	2	4	3	8	17
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7	4	4	2	17

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

今年度は行政による研修が増えたので外部研修に行きやすく、スタッフ間で勤務調整をしながら参加ができている。連絡会等は役割のある代表が参加している。日々の利用者の状況を把握し事故のないように注意している。事業所内で行う研修には積極的に参加している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

個別支援が優先で、地域の連絡会や研修 (島外) に参加時間がとりにくい状況がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

もう一步若いスタッフのスキルアップにチャレンジや研修内容を事業所内で発揮できるようにすることが課題。外部からの実習や研修の受け入れと共に学び合いのさらなる活用とより質を向上するための専門的な意見をいただいでいくとともに、スタッフ間での役割分担の強化と研修内容の共有の時間を内部研修に生かしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 27 日 (20 : 00～20 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 前泊・井本・勝連・譜久村・久貝・仲地
吉田・井上・金城・波平・山城・棚原・坂東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	10人	1人	0人	17人

前回の改善計画
拘束・虐待・権利擁護の知識、密着している地域での情報共有と個人情報管理が課題。 対象と向き合いチームで考え、対象や家族・地域のつながりと本人の最善を考えながら、包括支援センターや役所担当課と相談しながら暮らし丸ごとを支援し学び続けていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
身体拘束・虐待に関する知識をミーティング内で振り返り、スタッフ一人一人が日々の業務の中で声かけあい、学びながら利用者が過ごしやすい環境をチームで心掛けられるようになっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	14	3	0	0	17
②	虐待は行われていない	15	2	0	0	17
③	プライバシーが守られている	10	5	2	0	17
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	1	3	11	17
⑤	適正な個人情報の管理ができている	9	6	2	0	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	身体拘束ゼロを目指しチーム発足し勉強して拘束はしていない。見守り・見回り等を増やすことで、利用者の過ごしやすい環境づくりと共に安全性に心掛けている。利用者一人一人の日々の状態をチームで把握している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	親しい間柄での個人情報がどこからどこまでかの把握に日々苦悩している。また、利用者と家族・スタッフ、地域の間柄が近い分、お互いに本気で向き合っており言葉遣いが悪い。 成年後見人制度は手続きが難しく、制度自体もあまり知れ渡っておらず身内等に協力が得られない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	制度に関する認識がまだまだ低く、日々学習しながら手探りの状態、個人情報を守りながらの地域との情報共有が課題。制度等は個別支援を通しながら関連機関・包括支援センターなどとの相談から学んだことをケア会議などで共有し制度と個人情報の活用をチームで活用していく。